

IT Topics & News

情報セキュリティ安心相談窓口の 相談状況を公開（2019年第3四半期）【IPA】

10月25日、独立行政法人情報処理推進機構（略称＝IPA）は、2019年第3四半期（7月～9月）の情報セキュリティ安心相談窓口の相談状況を公開した。

相談件数は前四半期（2019年4月～6月）から約10.7%減の2,925件で、そのうち、相談員による対応件数（電話、電子メール、FAX・その他の合計）は1,817件だった（図）。また併わせて、主な五つの手口における相談員の対応件数の動向も発表された。

①ウイルスを検出したという偽警告で不安を煽り、電話をかけさせてサポート契約に誘導する「ウイルス検出の偽警告」に関する相談が今四半期は326件寄せられた。偽のセキュリティ警告によって有償の「ソフトウェア購入」や「サポート契約」をさせる手口である。

②パソコンとスマートフォンを合わせた「ワンクリック請求」に関する相談が前四半期から約12.5%増の90件寄せられた。

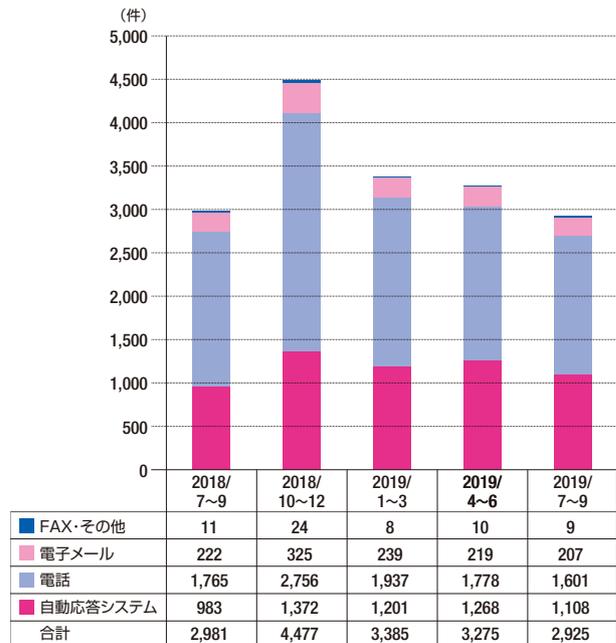
③各種インターネットサービスにおいて、第三者にID及びパスワードを不正利用された「不正ログイン」に関する相談が前四半期の約20.0%減の64件寄せられた。

④「宅配便業者をかたる偽SMS」に関する相談が前四半期の約27.2%減の334件寄せられた。IPAが掲げる対応策としては、SMSやメール内のURLを、安易にタップしない。信頼性が不明なアプリや構成プロファイルなどを、安易にインストールしない。パスワードや認証コー

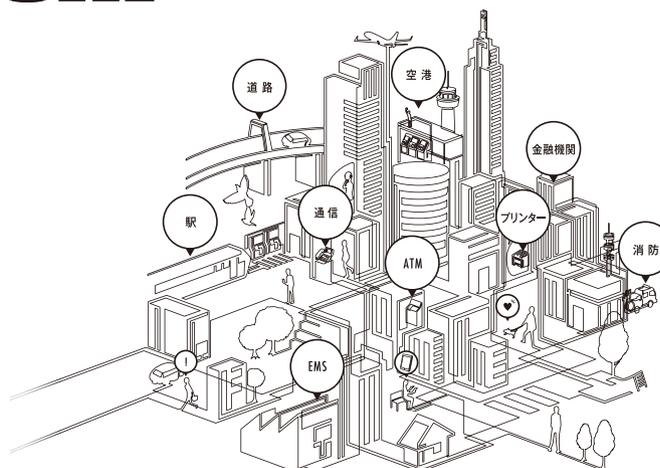
ドなどを、安易に入力しないことが挙げられている。

⑤「仮想通貨で金銭を要求する迷惑メール」に関する相談が前四半期の約4.4%増の95件寄せられた。仮想通貨を支払わないと性的な映像をばらまくと恐喝するものだが、IPAにこれまで寄せられている相談では、撮影したとされる映像ファイル等の情報がメール内にあった事例も、支払いに応じなかったために映像等がばらまかれたなどの事例も確認されていない。

（図）相談件数の推移



OKI Open up your dreams



OKI www.oki.com/jp/

Open up your dreams

OKIは夢の扉を開きます

OKIは世界の人々の心豊かで安心、安全な夢の社会への扉を開きます。すべての夢や希望が現実のものとなる情報社会の実現に貢献していくこと、それによって人々に「安心」をお届けするという使命を果たしていきます。「あなたの夢を拓く」「想いを実現する」、それが「Open up your dreams」に込めたOKIの約束です。